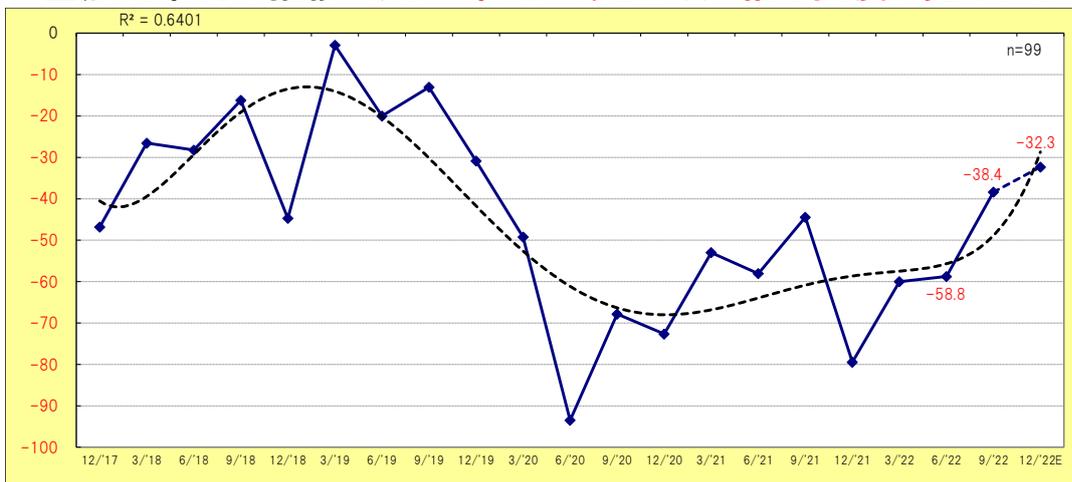


第 90 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

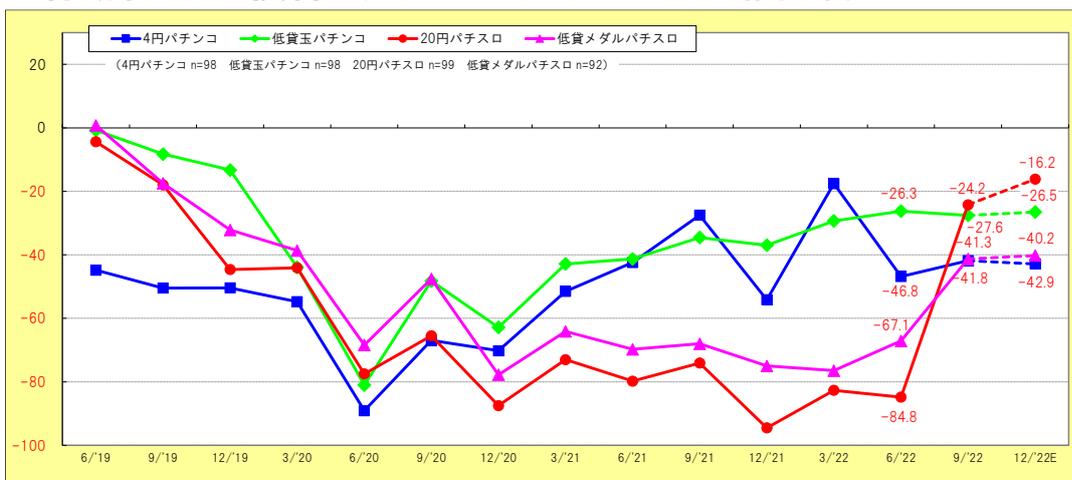
2022 年 10 月

要点

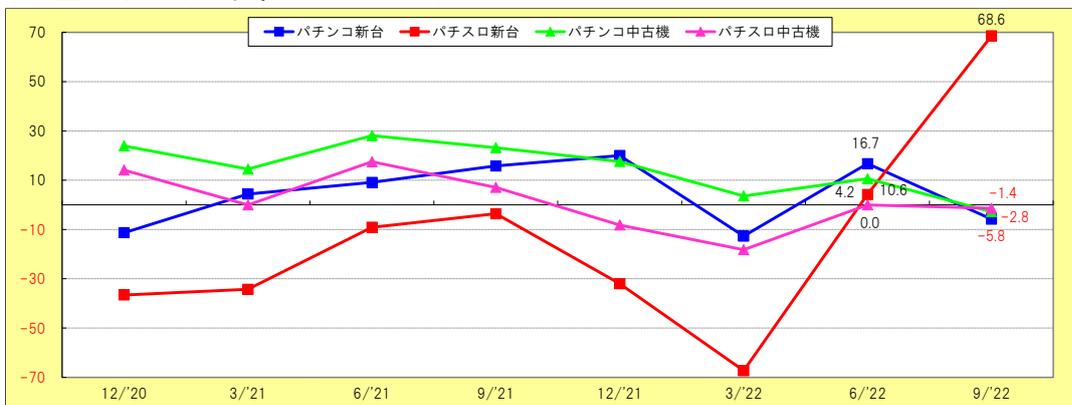
■ 全般的業況の推移: 厳しい業況にあるが、大幅な回復が見られる



■ 稼動状況(遊技料金別): 20円パチスロが大幅回復



■ 遊技機購入費: パチスロ新台が大幅に回復



◇ 回答状況

72 企業、99 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI値)結果

■全般的業況は大幅に回復、中でもパチスロは大幅に回復

「全般的業況」は▲38.4ポイント(前回比20.4良化)まで大幅に回復した。3カ月後は▲32.3ポイントまで回復する見通しとなり、業況に改善傾向が見られる。

「稼動状況」はパチンコが▲31.3ポイント(前回比8.7良化)、パチスロが▲30.3ポイント(前回比56.0良化)まで回復した。3カ月後はパチンコ▲35.4ポイント、パチスロ▲22.2ポイントとなり、パチスロはさらに回復する見通しである。

「資本投資気運(遊技機)」は9.7ポイント(前回比46.2良化)、3カ月後は48.6ポイントまで大幅に回復する見通しである。「資本投資気運(その他設備)」は2.8ポイント(前回比20.1良化)、3カ月後は52.8ポイントまで回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は▲32.3ポイント(前回比16.0悪化)、3カ月後は▲33.3ポイントと概ね現状維持の見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況				現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
	-58.8	-38.4	-32.3	
2. 稼動状況 (パチンコ)				現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
	-40.0	-31.3	-35.4	
3. 稼動状況 (パチスロ)				現状は引き続き雷雨 見通しは雨に良化
	-86.3	-30.3	-22.2	
4. 資本投資気運 (遊技機)				現状は曇りに良化 見通しは晴れに良化
	-36.5	9.7	48.6	
5. 資本投資気運 (その他設備)				現状は曇りに良化 見通しは晴れに良化
	-17.3	2.8	52.8	
6. 不足感 (営業用設備)				現状は雨に良化 見通しは雷雨に悪化
	-31.3	-26.3	-40.4	
7. 不足感 (雇用人員)				現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
	-16.3	-32.3	-33.3	

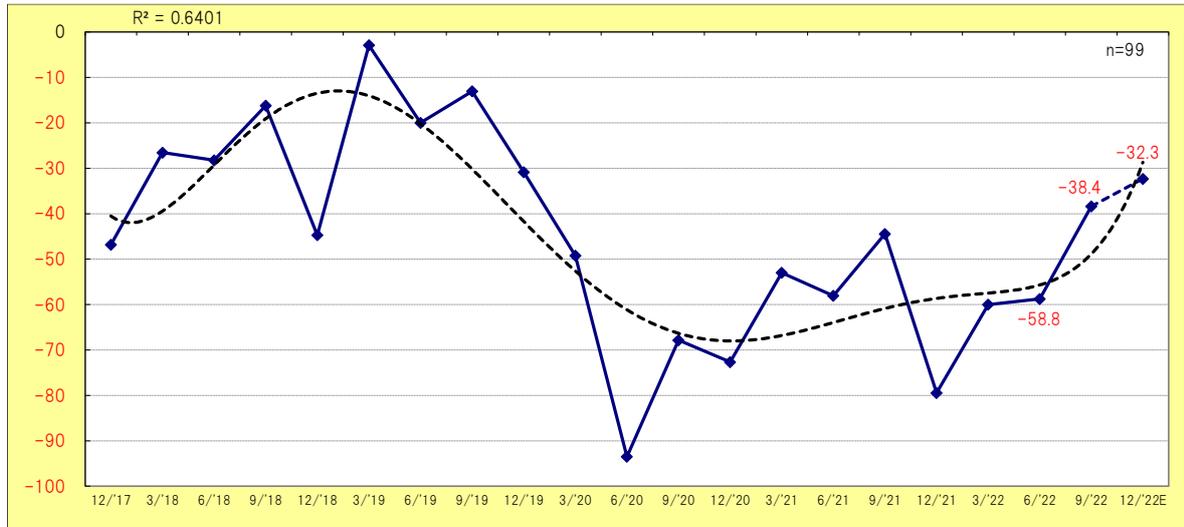
凡例: 天気記号の基準DI値

記号					
DI値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2022年12月期(12/'22E)の数値は見通し

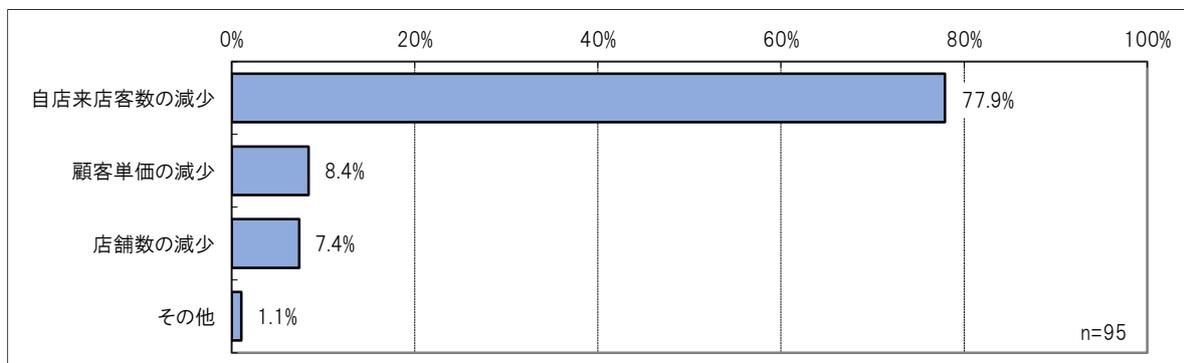
■全般的業況:大幅に回復、3カ月後は回復するも厳しい見通し



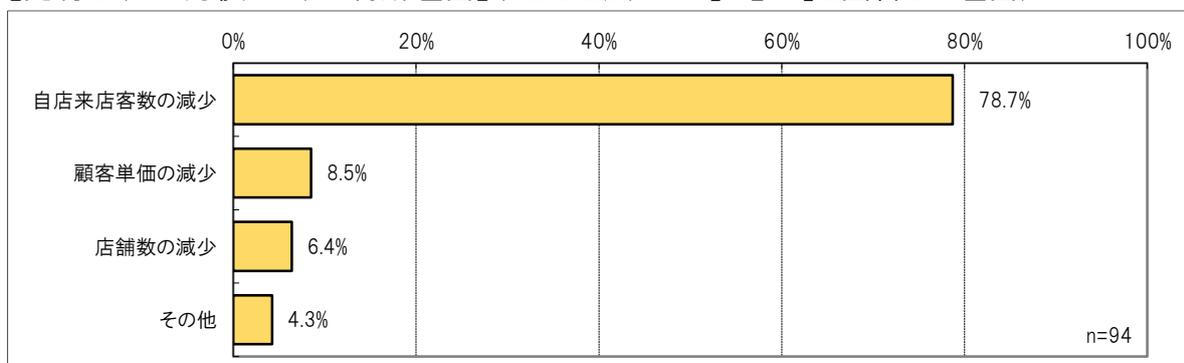
過去1カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲38.4ポイント(前回比20.4良化)まで大幅に回復した。3カ月後は▲32.3ポイントまで回復する見通しとなり、業況に改善傾向が見られる。

■全般的業況の悪化理由:客数の減少は現況・先行きともに8割弱

【現況(現在を含めたここ1カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



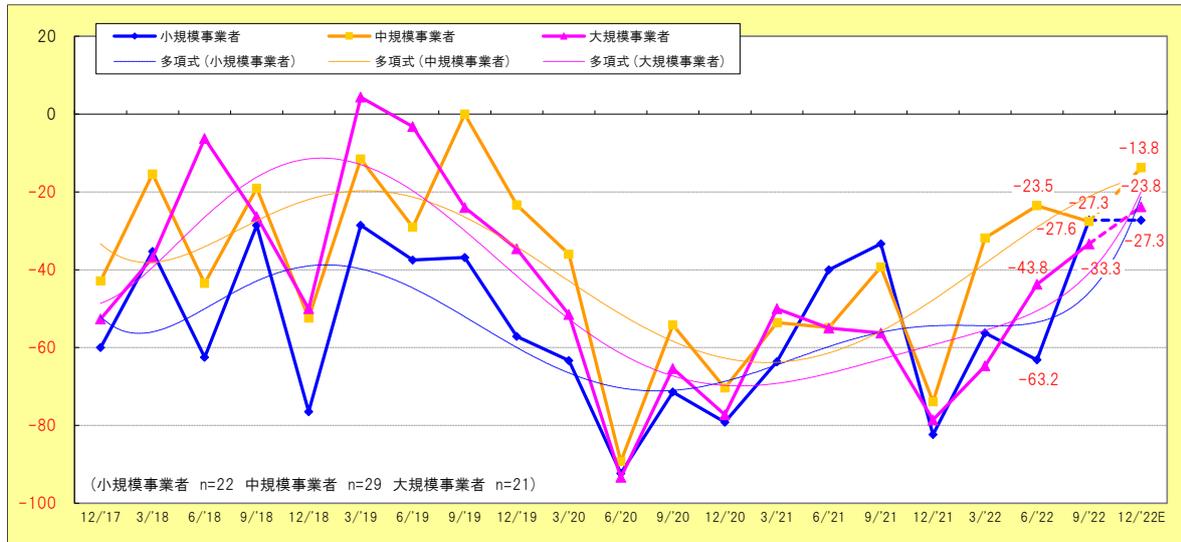
【先行き(3カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2022年12月期(12/'22E)の数値は見通し

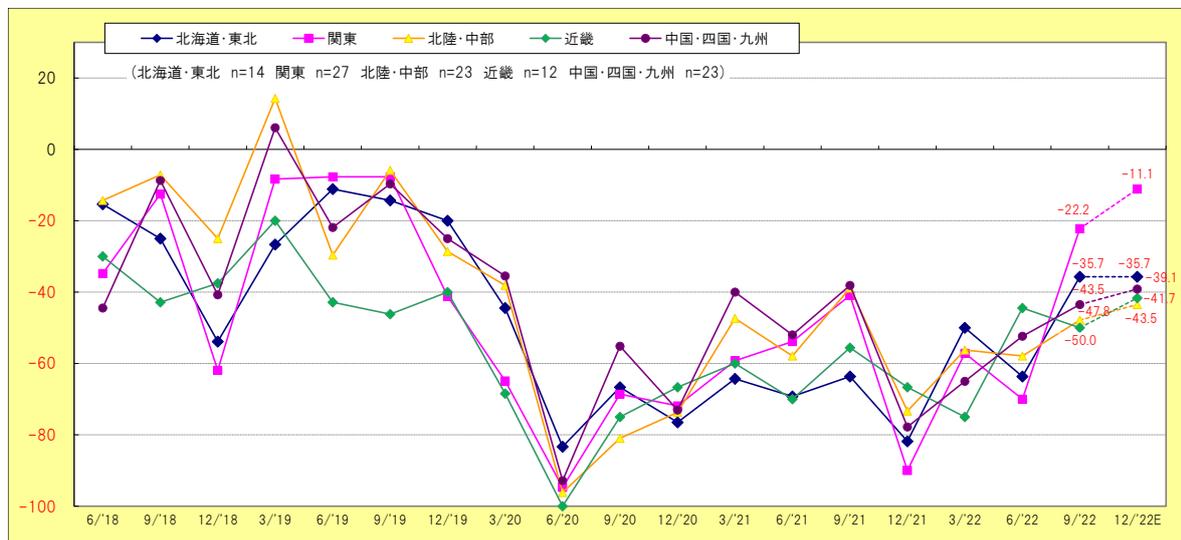
■全般的業況(規模別):小規模で大幅に回復、3カ月後は中・大規模で回復見通し



事業規模別の「全般的業況」では、小規模事業者(1~3 店舗)が▲27.3 ポイント(前回比 35.9 良化)、中規模事業者(4~10 店舗)が▲27.6 ポイント(前回比 4.1 悪化)、大規模事業者(11 店舗以上)が▲33.3 ポイント(前回比 10.5 良化)となった。

3 カ月後は中規模、大規模事業者で回復する見通しである。

■全般的業況(地域別):関東で大幅に回復、3 カ月後に悪化する見通しはない



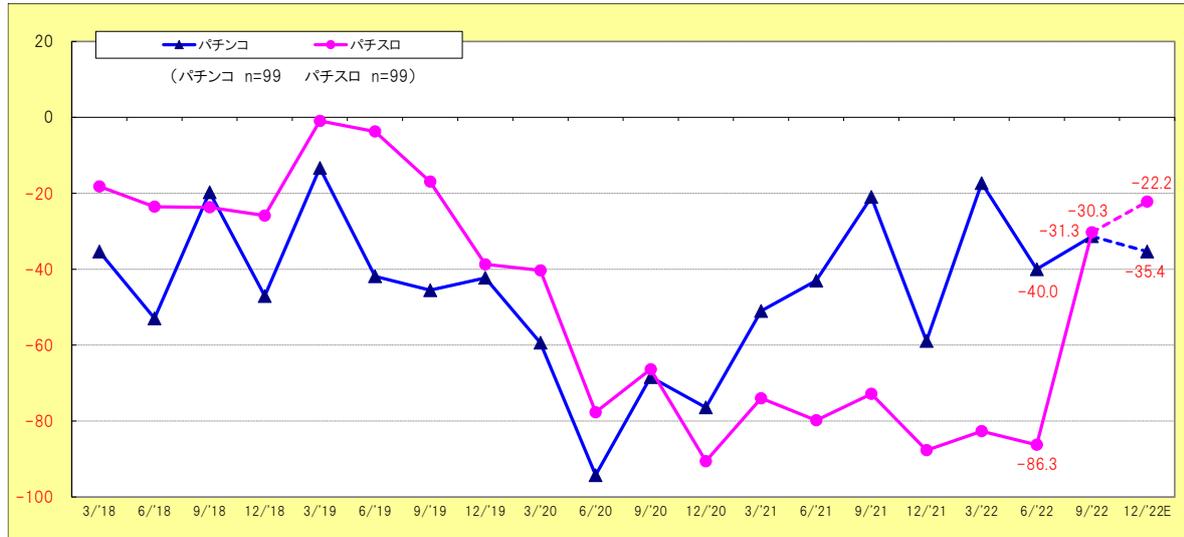
地域別での業況はバラつきが見られた。地域順では、関東で▲22.2 ポイント(前回比 47.8 良化)、北海道・東北で▲35.7 ポイント(前回比 27.9 良化)、中国・四国・九州で▲43.5 ポイント(前回比 8.9 良化)、北陸・中部で▲47.8 ポイント(前回比 10.1 良化)、近畿で▲50.0 ポイント(前回比 5.6 悪化)となった。

3 カ月後の業況は地域によって差があるものの、悪化する見通しの地域はない。

稼動状況(事業者全体)

注: 2022年12月期(12/'22E)の数値は見通し

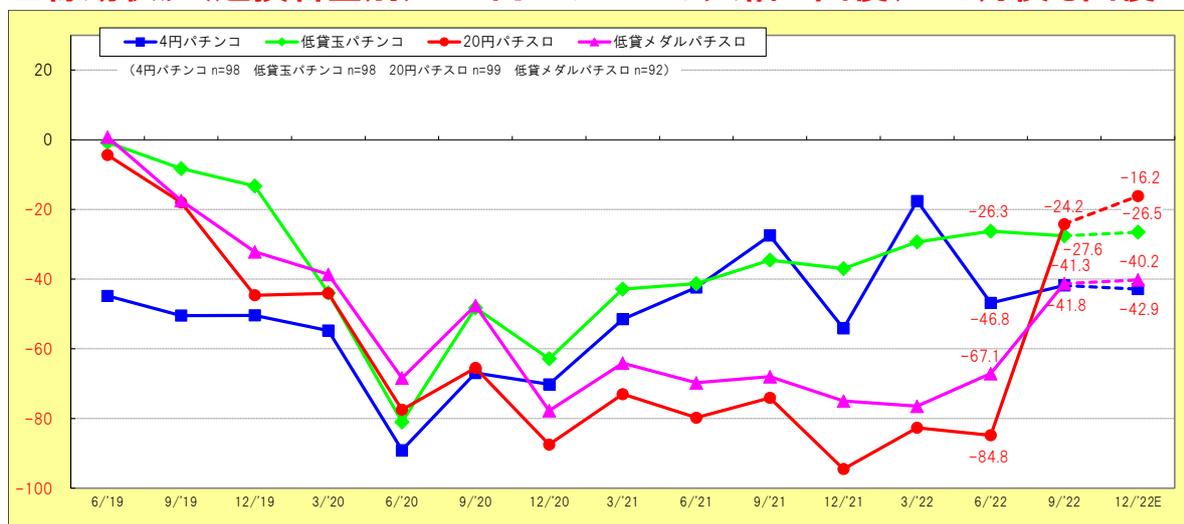
■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチスロは大幅に回復、3カ月後も回復見通し



稼動状況について、パチンコは▲31.3ポイント(前回比 8.7 良化)まで回復した。パチスロは▲30.3ポイント(前回比 56.0 良化)となり、大幅に回復した。3カ月後はパチンコ▲35.4ポイント、パチスロ▲22.2ポイントとなり、パチンコはやや悪化する一方、パチスロはさらに回復する見通しである。

パチスロが大幅に回復した背景には、季節的な要因に加え、6.5号機の中で稼働が好調だった機種があったことも要因として考えられる。

■稼動状況(遊技料金別):20円パチスロは大幅に回復、3カ月後も回復の見通し



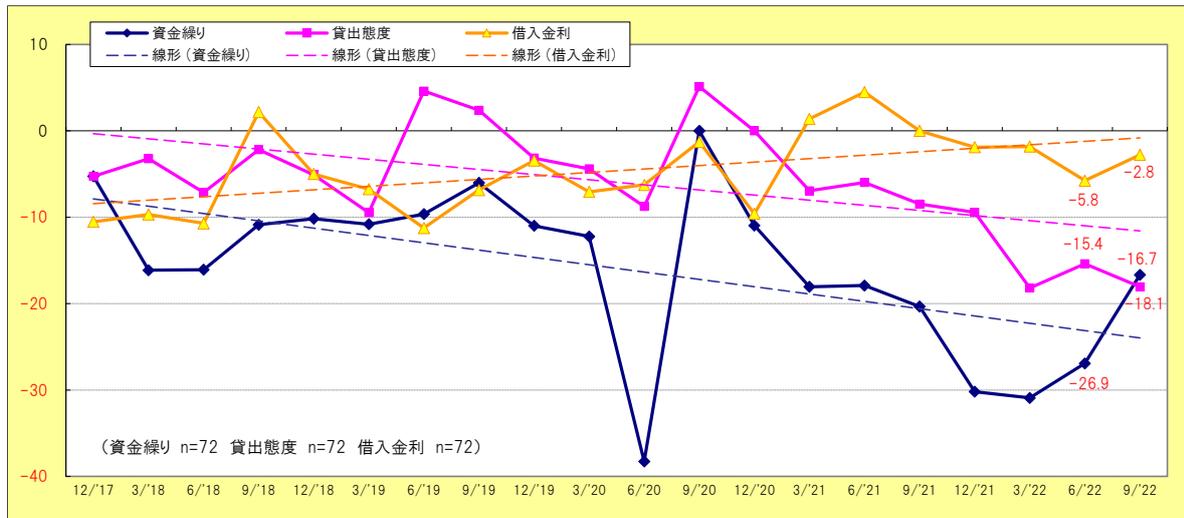
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲41.8ポイント(前回比 5.0 良化)まで回復した。3カ月後は▲42.9ポイントと概ね現状維持の見通しである。20円パチスロは▲24.2ポイント(前回比 60.6 良化)まで大幅に回復した。3カ月後は▲16.2ポイントまで回復する見通しである。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲27.6ポイント(前回比 1.3 悪化)、3カ月後は▲26.5ポイントと概ね現状維持の見通しである。低貸メダルパチスロは▲41.3ポイント(前回比 25.8 良化)、3カ月後は▲40.2ポイントと概ね現状維持の見通しである。

経営の現状(事業者全体)

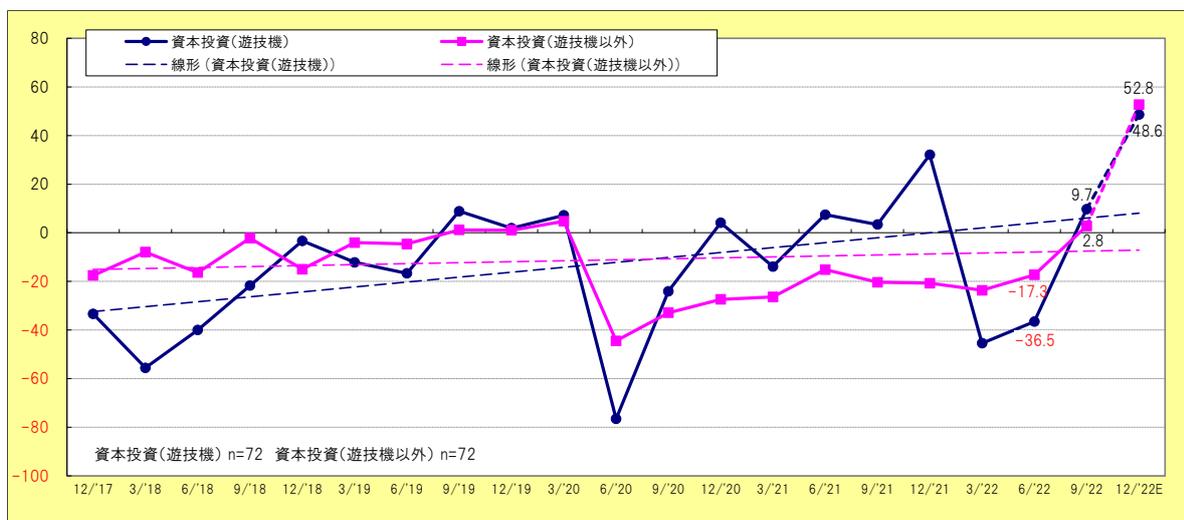
注:2022年12月期(12/22E)の数値は見通し

■企業金融:資金繰りが回復、貸出態度はやや悪化



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲16.7ポイント(前回比10.2良化)、「貸出態度」▲18.1ポイント(前回比2.7悪化)、「借入金利」▲2.8ポイント(前回比3.0良化)となった。

■資本投資気運:遊技機・遊技機以外はどちらも回復、3カ月後は大幅に回復



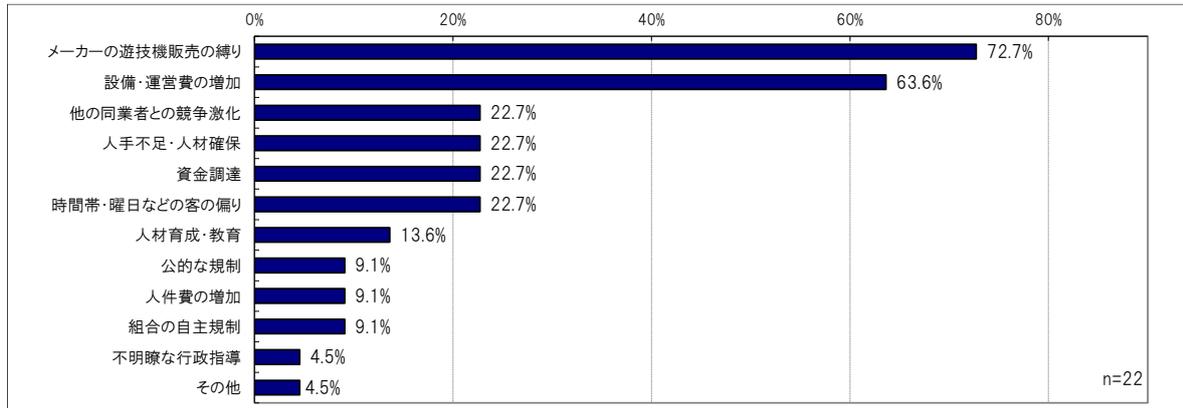
今回の「資本投資気運(遊技機)」は9.7ポイント(前回比46.2良化)まで大幅に回復、3カ月後は48.6ポイントまで大幅に回復する見通しである。

一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は2.8ポイント(前回比20.1良化)まで大幅に回復、3カ月後は52.8ポイントまで大幅に回復する見通しである。

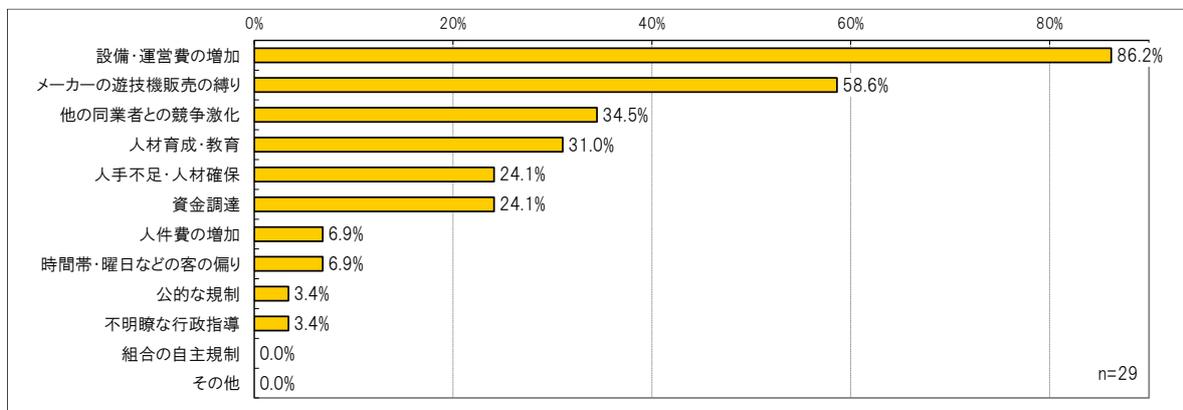
経営上の課題(事業者規模別)

注:複数回答

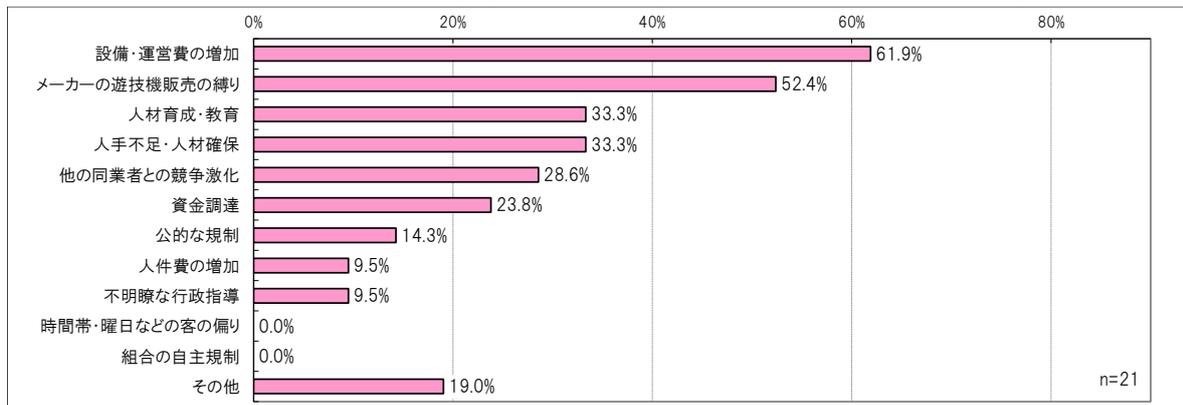
■小規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に設備・運営費の増加



■中規模事業者:設備・運営費の増加が最も高く、2番目に遊技機販売の縛り



■大規模事業者:設備・運営費の増加が最も高く、2番目に遊技機販売の縛り



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が72.7%で最も高い。2番目に「設備・運営費の増加」が高かった。

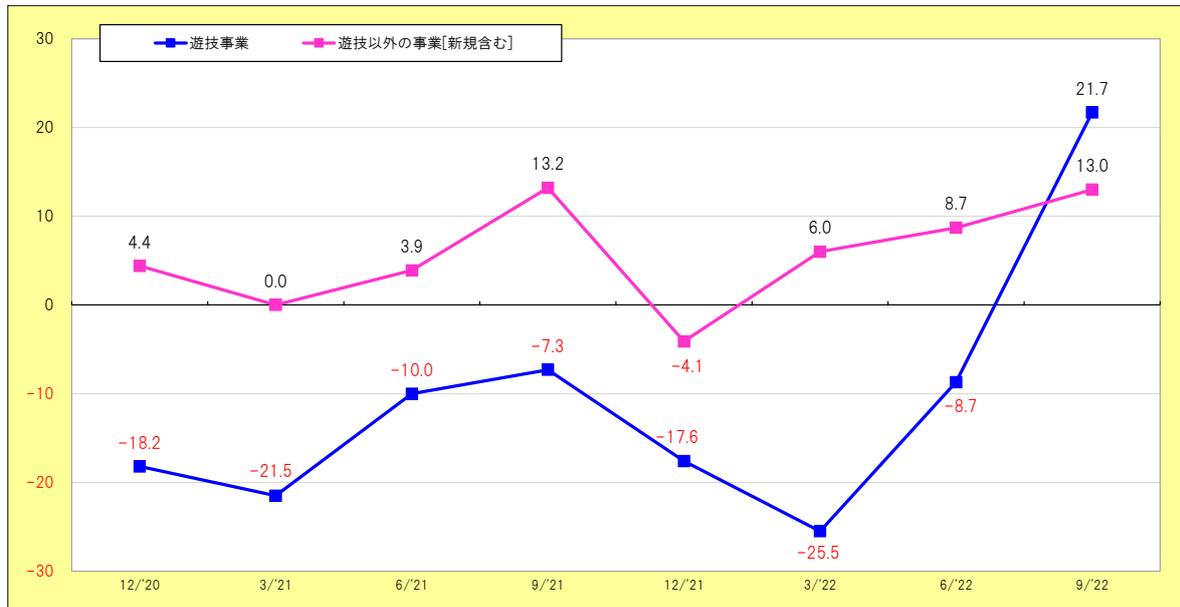
中規模事業者(4~10 店舗)は「設備・運営費の増加」が86.2%で最も高い。2番目に「メーカーの遊技機販売の縛り」が高かった。

大規模事業者(11 店舗以上)は「設備・運営費の増加」が61.9%で最も高い。2番目に「メーカーの遊技機販売の縛り」が高かった。

事業規模にかかわらず、「メーカーの遊技機販売の縛り」「設備・運営費の増加」が上位となっており、企業全体として大きな課題と捉えていることがうかがえる。

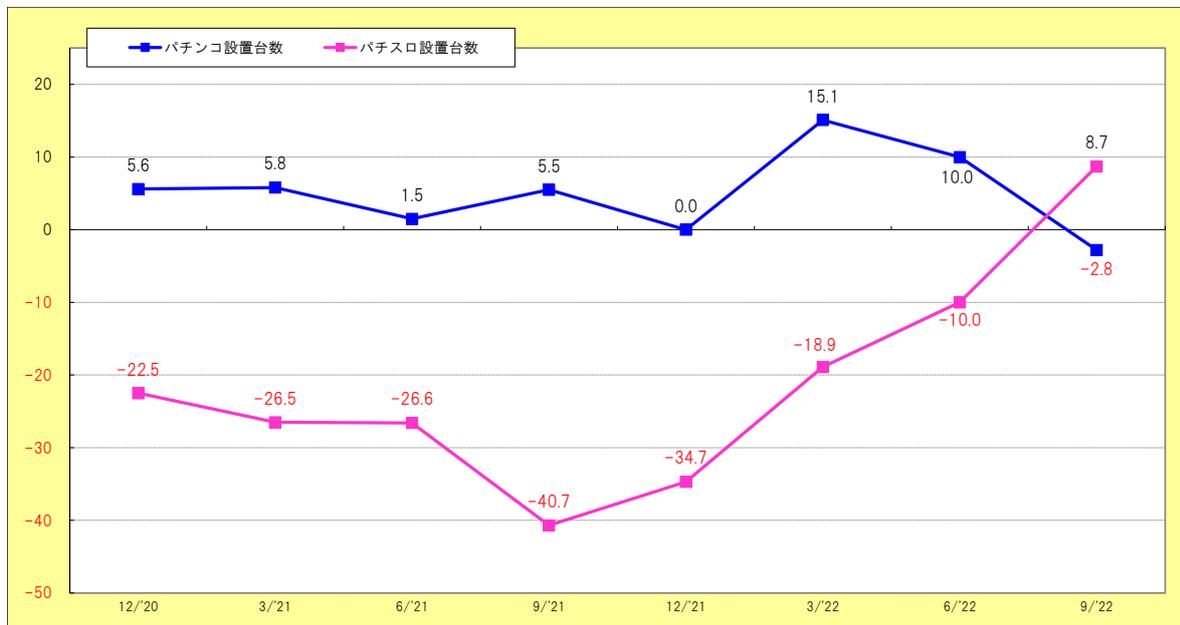
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:遊技事業は大幅に回復し、プラスに転じる



事業規模について増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると、「遊技事業」は 21.7 ポイント(前回比 30.4 良化)、「遊技以外の事業」は 13.0 ポイント(前回比 4.3 良化)となった。「遊技事業」はプラスへ大幅に転じており、遊技事業に対する拡大の意向がうかがえる。

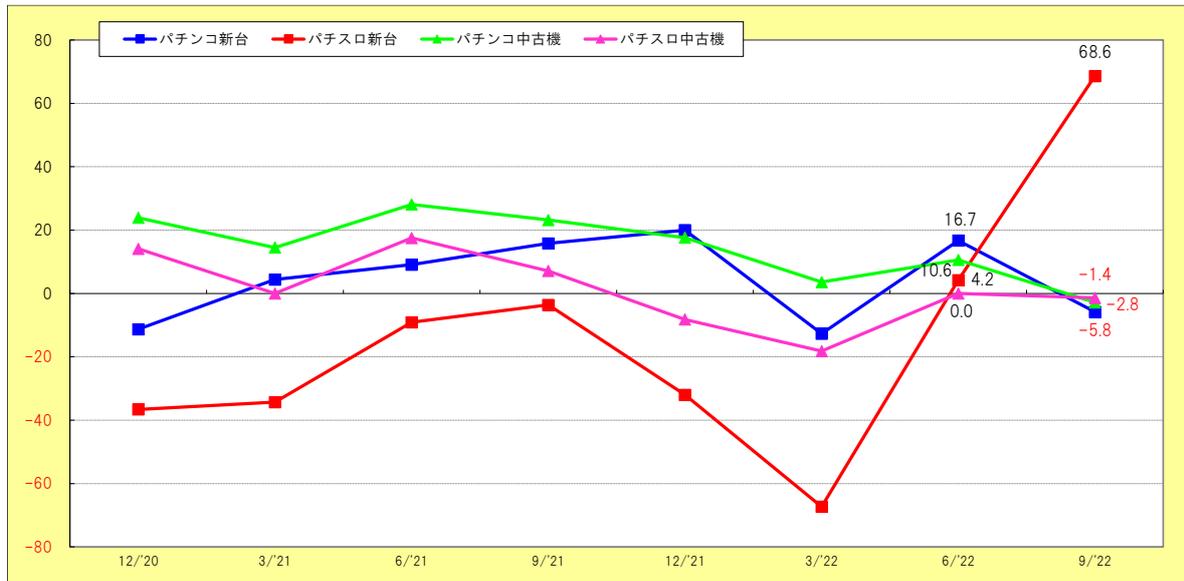
■設置台数:パチスロは 4 期連続で上昇し、プラスに転じる



設置台数について増減差(「増台」-「減台」)で見ると、「パチンコ設置台数」は▲2.8 ポイント(前回比 12.8 悪化)となり、マイナスに転じている。一方、「パチスロ設置台数」は 8.7 ポイント(前回比 18.7 良化)と 4 期連続で上昇が見られ、プラスに転じている。

今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)②

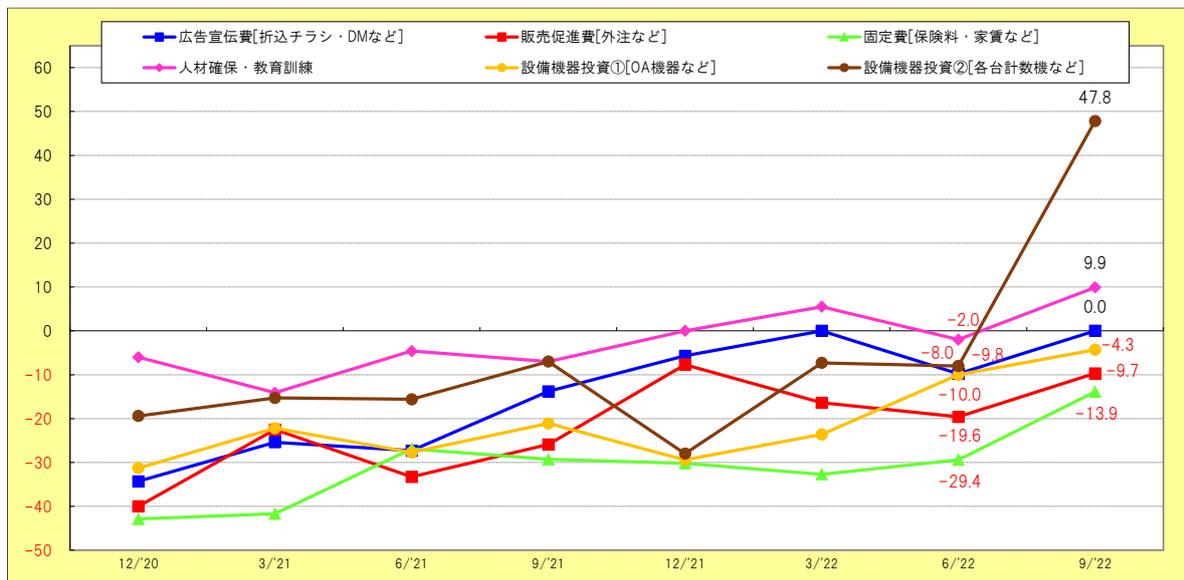
■遊技機購入費:パチスロ新台が大幅に回復、パチンコは新台・中古機ともに悪化



遊技機購入費について増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、「パチンコ新台」は▲5.8 ポイント(前回比 22.5 悪化)、「パチスロ新台」は 68.6 ポイント(前回比 64.4 良化)となった。

「パチンコ中古機」は▲2.8 ポイント(前回比 13.4 悪化)、「パチスロ中古機」は▲1.4 ポイント(前回比 1.4 悪化)となった。

■販売管理費:各管理費は全て上昇、中でも「設備機器投資①」は大幅に上昇



販売管理費について増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」は±0 ポイント(前回比 9.8 良化)、「販売促進費」は▲9.7 ポイント(前回比 9.9 良化)、「固定費」は▲13.9 ポイント(前回比 15.5 良化)、「人材確保・教育訓練」は 9.9 ポイント(前回比 11.9 良化)、「設備機器投資①」は▲4.3 ポイント(前回比 5.7 良化)、「設備機器投資②」は 47.8 ポイント(前回比 55.8 良化)となった。

各管理費は全て上昇しているが、中でも「設備機器投資①」は大幅に上昇しており、スマート遊技機に対する設備投資が影響していると考えられる。

コメント(自由回答)抜粋①

■現状と今後について

- ◆今年も残り3カ月。コロナがこのまま収束するのか、あるいは再来月にまた再流行するのか、インフルエンザと同時流行するのか、気をもむところ。他にも円安、生活必需品やエネルギーの高騰による生活圧迫、いろんな懸念材料があつて心休まらない日々に疲れる。(中国・小規模事業者)
- ◆統計ではコロナ前との売上比較は7~8割が全体の相場である。しかし、足下では体力の弱い企業(店舗)とその対極にある企業との格差が鮮明になっている。実際の分布として店ごとでコロナ前との売上を比較すると5~9割と差があり、5割に満たない店舗が次々とクローズしている状況だろう。(関東・大規模事業者)

■スマート遊技機への展望や課題など

- ◆従前はパチスロ集客を基軸としていた中小ホールが干上がっている状況だが、スマートパチスロの効果により視界が開けるのは、供給の問題もあり来年の後半以降ではないか。(関東・大規模事業者)
- ◆季節要因も含め、下降水準と考えている。スマートパチスロに対応した設備もほしい台数が行き渡らないなど、明るい未来に向けた要素が少ないのが現状と言える。現状維持となりそう。(関東・小規模事業者)
- ◆スマート遊技機設置のため、一部店舗の売却等で資金を留保している。じり貧の稼働や売上・粗利を好転させる起爆剤になって欲しい。(中国・中規模事業者)
- ◆スマート遊技機の導入によるレギュレーション変更は業界として喜ばしいことだと思う。(中部・中規模事業者)
- ◆スマートパチスロ関連で、設備投資が増える時期だ。期待はあるが投資に見合うかは不明である。もし投資に見合う結果にならなければ、業界に与えるインパクトは小さくないだろう。(中部・大規模事業者)
- ◆スマート遊技機の発売により、必然的に設備投資や機械投資が増加する。ここで集客が増えなければ無駄な投資となるので、これからの営業が肝となると思っている。(関東・大規模事業者)
- ◆今後について、スマートパチンコ・パチスロの動向が気になる。(九州・中規模事業者、東北・小規模事業者)
- ◆ここにきてスマートパチスロへの設備投資や新札発行による改修費も頭が痛い。とにもかくにも日々の営業を見ながら年を越せる見通しを立てたい。(関東・小規模事業者)
- ◆スマートパチスロへの期待値が大きく、導入台数による業績変動が大きく起こる可能性が高いため、優位性を作れるかが課題。(近畿・大規模事業者)
- ◆スマート遊技機の販売数や方法が極めて不安定で準備不足だと感じる。今の状況なら延期したほうが良い。(近畿・中規模事業者)
- ◆スマートパチスロの機械代が高すぎる。共通枠で機械代を下げるといふ当初の触れコミはどこへ行ったのか。(中国・大規模事業者)

コメント(自由回答)抜粋②

- ◆スマート遊技機(特にパチスロ)の設備投資を考えているため、投資は増える。スマートパチスロを導入するには縛りがあり、抱き合わせの新台を購入しなければならず、計画以上の購入費用がかかってしまう。メーカーサイドには機歴や抱き合わせだけでなく、適正販売をして頂きたいと思っている。(中国・大規模事業者)
- ◆スマートパチスロが発売されるようだが、メーカーの販売方法は相変わらず、抱き合わせ販売や体のいい機歴販売など売り方に納得できないことが多い。ユニットの販売数が少ないので計画が立てにくい。(中部・小規模事業者)
- ◆遊技機の販売方法を改めてほしい。(九州・小規模事業者)
- ◆スマート遊技機の設備や遊技機が希望通り確保できるかという不安と、スマート遊技機の購入における競合との差に懸念がある。(東北・小規模事業者)
- ◆スマートパチスロへの投資に対する見返りとして利益が出せるのかが心配である。さらに来年はスマートパチンコも登場するのに、さらなる投資が自社に可能なのだろうか。いくら何でも店舗負担が多過ぎる。(関東・小規模事業者)
- ◆スマートパチスロへの期待が大きいが、ユニットの供給に不安がある。(関東・中規模事業者)
- ◆スマートパチスロの市場への配分と動向が気になる。(九州、関東・中規模事業者)
- ◆半導体不足により、スマートパチスロ本体や対応サンドの確保が困難である。(関東・大規模事業者、中部・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-63.2	-27.3	-27.3	-23.5	-27.6	-13.8	-43.8	-33.3	-23.8	-58.8	-38.4	-32.3
稼動状況(パチンコ)	-36.8	-22.7	-27.3	-5.9	-20.7	-20.7	-25.0	-19.0	-28.6	-40.0	-31.3	-35.4
稼動状況(パチスロ)	-78.9	-31.8	-18.2	-88.2	-20.7	-17.2	-81.3	-9.5	4.8	-86.3	-30.3	-22.2
資本投資気運(遊技機)	-31.6	-4.5	27.3	-29.4	20.7	62.1	-50.0	9.5	52.4	-36.5	9.7	48.6
資本投資気運(その他設備)	-26.3	-4.5	36.4	0.0	13.8	62.1	-25.0	-4.8	57.1	-17.3	2.8	52.8
不足感(営業用設備)	-21.1	-9.1	-31.8	-29.4	-24.1	-27.6	-31.3	-23.8	-38.1	-31.3	-26.3	-40.4
不足感(雇用人員)	-31.6	-45.5	-50.0	-17.6	-31.0	-31.0	-25.0	-47.6	-42.9	-16.3	-32.3	-33.3

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-63.6	-35.7	-35.7	-70.0	-22.2	-11.1	-57.9	-47.8	-43.5
稼動状況(パチンコ)	-45.5	-21.4	-28.6	-45.0	-33.3	-29.6	-52.6	-26.1	-39.1
稼動状況(パチスロ)	-81.8	-28.6	-14.3	-85.0	-18.5	-11.1	-89.5	-43.5	-34.8
不足感(営業用設備)	-9.1	-21.4	-35.7	-30.0	-14.8	-33.3	-36.8	-34.8	-65.2
不足感(雇用人員)	-9.1	-28.6	-28.6	-10.0	-22.2	-22.2	-15.8	-47.8	-43.5
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-44.4	-50.0	-41.7	-52.4	-43.5	-39.1	-58.8	-38.4	-32.3
稼動状況(パチンコ)	-22.2	-50.0	-58.3	-28.6	-30.4	-30.4	-40.0	-31.3	-35.4
稼動状況(パチスロ)	-100.0	-50.0	-41.7	-81.0	-21.7	-17.4	-86.3	-30.3	-22.2
不足感(営業用設備)	-44.4	-50.0	-50.0	-33.3	-21.7	-21.7	-31.3	-26.3	-40.4
不足感(雇用人員)	-33.3	-25.0	-33.3	-19.0	-34.8	-39.1	-16.3	-32.3	-33.3

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-62.5	-42.1	-22.7	-22.7	-17.6	-6.9	-11.8	-18.8	-23.8	-30.9	-26.9	-16.7
貸出態度	-12.5	-31.6	-18.2	-22.7	-11.8	-20.7	-17.6	0.0	-14.3	-18.2	-15.4	-18.1
借入金利	0.0	-5.3	9.1	0.0	0.0	-3.4	-5.9	-12.5	-14.3	-1.8	-5.8	-2.8

* 全般的業況 n=99、稼動状況(パチンコ)n=99、稼動状況(パチスロ)n=99、資本投資気運(遊技機)n=72、資本投資気運(その他設備)n=72、

不足感(営業用設備)n=99、不足感(雇用人員)n=99、資金繰り n=72、貸出態度 n=72、借入金利 n=72

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2022年9月15日～9月30日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

72企業、99地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査協力 〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 URL:<https://www.eb-i.jp/>

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

©2022 SEES RESEARCH